

前回は、腰の脊柱管狭窄症や椎間板ヘルニアがどういったものかのお話をしました。9月号は、神経ブロックの治療方法についてお話ししましょう。



◆あなたの腰はどっちですか？

ペインクリニックでは、痛みの原因がなんであるかも検査して診断します。検査にはレントゲンやMRIを使います。レントゲンやMRIを撮ると、多くの方の場合、腰の骨が変形しています。外から見てみるとあまりわかりませんよね。でも実際は随分曲がったりねじれたり、つぶれたりしているのです。

◆当院のブロック治療 -レントゲン透視装置を使用-

ペインクリニックでは、整形外科と違って、主に神経ブロック治療をいう方法を用いて痛みを取る治療をします。痛みの原因となっている脊髄の近くに針を持っていき、脊髄のすぐそばに薬を打ちます。硬膜外ブロックは最もよく用いられる施術ですが、一般的な病院ではレントゲンを使わずに行います。しかし、多くの方は、図2のように脊椎がゆがんでいて、目的とする小さな隙間がどこにあるがわかりません。そこで、千里ペインクリニックでは、自在に角度を変化させることができる特殊なレントゲン透視装置を使って治療します。この装置は、脊椎がどんなにゆがんでいても、正確に目的の場所を探し出し、針の通る隙間を写し出します(図3)。よって、安全かつ正確なブロック治療を行うことが可能となります。私も長年ペインクリニックをしてきましたが、この透視装置がなければ、硬膜外ブロックができない患者様をたくさん治療させていただきました。本当に優れモノです。

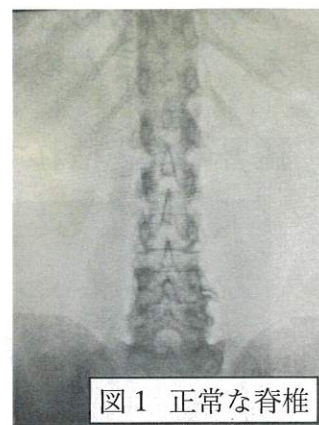


図1 正常な脊椎



図2 変形した脊椎

また、太っているかたもブロック治療は難しいです。なにせ、10cm近く先の小さな穴に針を持っていくのですから！このような時も、透視装置が活躍します。これがなければできません。



レントゲン透視装置

レントゲンを使用しますが、非常に短時間なので身体には害のない程度です。ご安心ください。

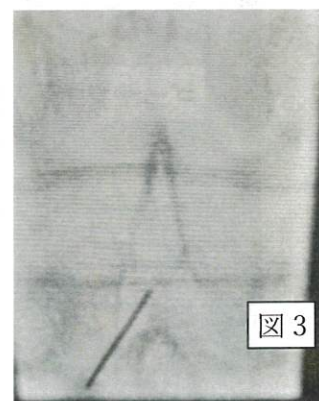


図3

どんなに脊椎がゆがんでも痛みを取って自分の足で生活したいですよ！